

経営工学教育における学士力の考察

【到達目標】

1. 経営資源を有効に活用するために、企業や組織体の活動を科学的に調査し、分析できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

経営の基礎、業務と経営資源、調査・分析の基礎など

【到達度】

- ① 企業や組織体の目的と構造について理解している。
- ② 業務活動の流れに対応して、必要となる人、もの、金、情報などの経営資源を知っている。
- ③ 業務活動に関する科学的な調査・分析手法について知っている。
- ④ 企業活動の事例やモデルに対して科学的な調査・分析手法を用いて、問題点を指摘できる。

【測定方法】

- ①～③は、客観式・論述式の筆記試験などにより、確認する。
- ④は、教員および学生間のディスカッションを通して、成果の発表などにより、確認する。

【到達目標】

2. 企業や組織体の活動に関して、課題の発見・構造化・解決に必要な知識とスキルを身に付けている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

オペレーションズ・マネジメント(IE、QC などを含む)、数理解析(OR、統計解析などを含む)、プロジェクトマネジメント、情報処理技術(データ処理とプログラミングやアルゴリズム開発などを含む)など

【到達度】

- ① 問題解決のプロセスについて理解している。
- ② モデル化ならびに最適化の手法を理解している。
- ③ データ処理技術について理解している。
- ④ プロジェクトの管理・運営の基礎について理解している。
- ⑤ 具体的な問題に対して、問題解決のプロセスを適用し、適切な手法を用いて解を導くことができる。

【測定方法】

- ①～④は、客観式・論述式の筆記試験などにより、確認する。
- ⑤は、教員および学生間のディスカッションを通して、成果の発表などにより、確認する。

【到達目標】

3. 企業や組織体の活動に関して、システムの計画・設計・運用・管理・改善に必要な基礎知識・技術を身に付けている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

システム分析・設計、コストマネジメント、情報システムの設計・開発など

【到達度】

- ① 経営管理に関する原則や手法について理解している。
- ② 経営資源に関する管理技術の基礎について理解している。
- ③ 管理技術を適用してシステムの計画・設計ができる。

【測定方法】

- ①と②は、客観式・論述式の筆記試験などにより、確認する。
- ③は、客観式・論述式の筆記試験により確認するとともに、教員および学生間のディスカッションを通して、成果の発表などにより、確認する。

【到達目標】

4. 技術と経営およびこれらを取り巻く国内外の社会との関わりと、技術者の社会的責任を理解している。

【コア・カリキュラムのイメージ】

経営システムに関連する基礎的法知識、技術者倫理、技術マネジメントに関連する基礎的知識、環境マネジメント、国際標準など

【到達度】

- ① 企業や組織体の活動が国内外の社会に及ぼす影響について理解している。
- ② 技術者の役割と技術者倫理について理解している。

【測定方法】

- ①と②は、客観式・論述式の筆記試験などにより、確認する。